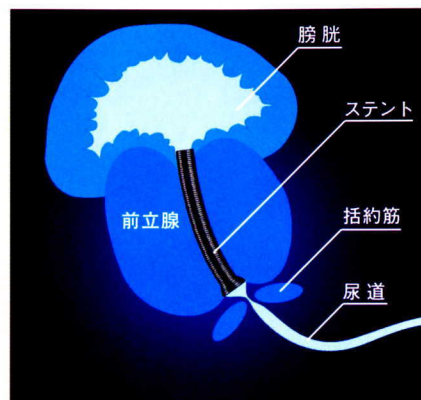


## ここで紹介されている尿道ステント、メモカスとはどんなものですか

ステントとは人体内の管の開大を維持する医療用具の総称です。尿道に用いるステントは直径7～8ミリのコイル型(筒型)をしています。前立腺の肥大により狭くなった尿道部に留置します。コイルは形状記憶合金(特別なチタン合金)で、50℃以上で一端が拡大し、10℃以下では柔らかくなります。結石がつきにくく感染しにくい材質です。



## 普通の手術ではなく、ステントにするのはなぜですか

前立腺肥大症の一般的な治療は内服薬と、内視鏡を用いて前立腺を削り取る手術(経尿道的前立腺切除術：TUR-P)です。しかし内服薬で効果がない場合や、様々な理由により手術が出来ない場合(心臓・脳・呼吸器などに重度の疾患があり手術に耐えられない、高齢であり全身状態が悪い、抗凝固剤内服を数日でも中止できない、手術には耐えられるが本人家族が入院手術を希望しない、など)は尿道カテーテル(長いおしっこのくた)の留置を余儀なくされることが多いのです。

ステントは局所麻酔の外来手術でおこなうことが可能です。カテーテル以外の治療の選択肢として優れた方法といえます。また、あとで抜くことが可能なので、手術をためらっているが現状をとりあえずどうにかしたい、という方にも一時的な治療法としておこなうことができます。

## ステント留置に向けて準備する事はありますか

特別な準備は不要です。局所麻酔を選択された場合は通常に飲食ができます。

## 手術はどのようにおこなわれますか

仰向けになり、尿道出口より麻酔ゼリーを注入します。次に尿道出口から造影剤(レントゲンにうつる液)を注入します。そしてレントゲンで尿道の長さをはかり、位置を決めます。尿道の長さにあうステントを挿入し、約50℃の生理的食塩水を注入します。ステントが拡張し、最終の位置確認をしたら手術は終了です。手術時間は30分前後です。

## 手術後はどうなりますか

多くの場合は、手術直後に排尿の改善が確認でき、数時間後に帰宅できます。まれに急性の排尿困難、尿閉、発熱がおこることがあります。その場合状態によっては局所麻酔でも一泊入院していただくことがあります。

## 痛みはありますか

局所麻酔がされた後に、尿道に不快感を感じる事があります。その症状は鎮痛剤や抗菌剤の内服で徐々におさまります。

## 手術後は…

術後、定期的に外来受診をしていただきます。ステントが正しい位置にあるか(膀胱内におちていないか)、長さが適切であるか(短すぎると尿がでにくく、長すぎると尿がもれやすくなります)、よごれすぎているか、など簡単な検査を適宜おこないます。ステントの寿命は数年単位ですが、位置や長さやよごれに異常がみられたときは交換が必要になります。交換も局所麻酔でおこなうことが可能です。

またステントを装着している旨を記したカードをお渡ししますので、他の科や医療機関で診察を受けるときは(救急車を使う事態のときは特に)そのカードを必ずご提示ください。保険証と一緒にしておくなどするとよいでしょう。